

財政再建に向かつて

平成19年度町の予算の概要

3月9日に開会された第1回町議会定例会で平成19年度の町予算が可決されました。10億円を超える累積赤字に加え、新たな地方自治体の財政規律の法制化と地方交付税の削減などから一層厳しさを増す町財政。「単年度の赤字財源の確保」で精一杯となった新年度予算の概要についてお知らせします。

町長町政執行方針から

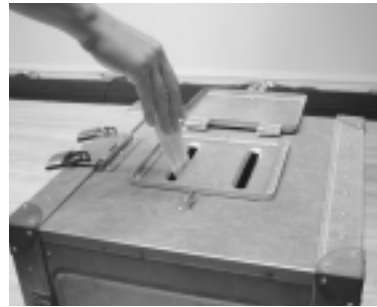
新型交付税導入で削減必至

全国の地方自治体が、声高く「国の財政再建のために地方交付税を削減することは容認できない。」と訴えながらも、三位一体改革による3年間の激減緩和措置を経た平成19年度の地方交付税は、景気の回復による地方税収の伸びが期待できるとして、特例減額の検討や面積と人口による新型交付税の導入などにより、さらなる削減継続の論議が続いており、不確実で厳しい情勢下に置かれています。

町税を含む経常的な歳入一般財源予算総額の8割を超える収入を地方交付税に依存している当町の現状を踏まえ、さらには、地方財政再生制度の法制化を視野にした財政再建のための新たな財源の捻出確保という、かつてない厳しい財政運営条件の下で、あらゆる分野の事務事業に

議会費 5,754万5千円

・議会だより発行費：84万円



総務費 8億3,797万3千円

- ・参議院議員選挙費(新規)：676万2千円
- ・北海道知事・道議会議員選挙費(新規)：443万9千円
- ・コミュニティ助成事業(除雪機購入)(新規)：250万円
- ・公用車更新等事業(新規)：380万円
- ・公共施設水道給水等整備事業：796万円



36.1%

9.1%

2.5%

計歳出別
20万円

民生費 2億1,058万6千円

- ・身体障害者等支援事業
(身体・知的障害者入所支援・児童居宅支援)：2,450万円
- ・身体障害者保護措置事業
(補装具交付、更正医療費給付)：260万円
- ・敬老会および敬老祝金支給事業：221万円
- ・びくに保育所、みなと保育所運営事業：4,073万8千円

公債費 4億3,309万円

- ・事業を行うために借りたお金の返済金

その他 91万5千円

- ・災害復旧費：11万5千円
- ・諸支出金：40万円
- ・予備費：40万円

教育費 1億8,918万6千円

- ・生涯学習推進事業(芸術鑑賞会ほか)：258万5千円
- ・通学路防犯対策事業(防犯対策グッズ購入)：57万円
- ・学校給食センター管理運営費：3,775万7千円
- ・海洋センター管理運営費：1,681万2千円



消防費 1億6,720万3千円

- ・北後志消防組合負担金：1億6,720万3千円

土木費 1億2,473万6千円

- ・地籍調査事業：4,185万円
- ・町道除排雪委託料：3,630万2千円
- ・町道維持補修事業：440万円

商工費 6,425万1千円

- ・観光施設美化清掃事業(観光施設・海岸美化清掃)：1,810万8千円
- ・イベント運営補助事業：364万円
- ・町商工会補助金：552万円
- ・積丹観光協会補助金：846万4千円



農林水産業費 1億1,797万7千円

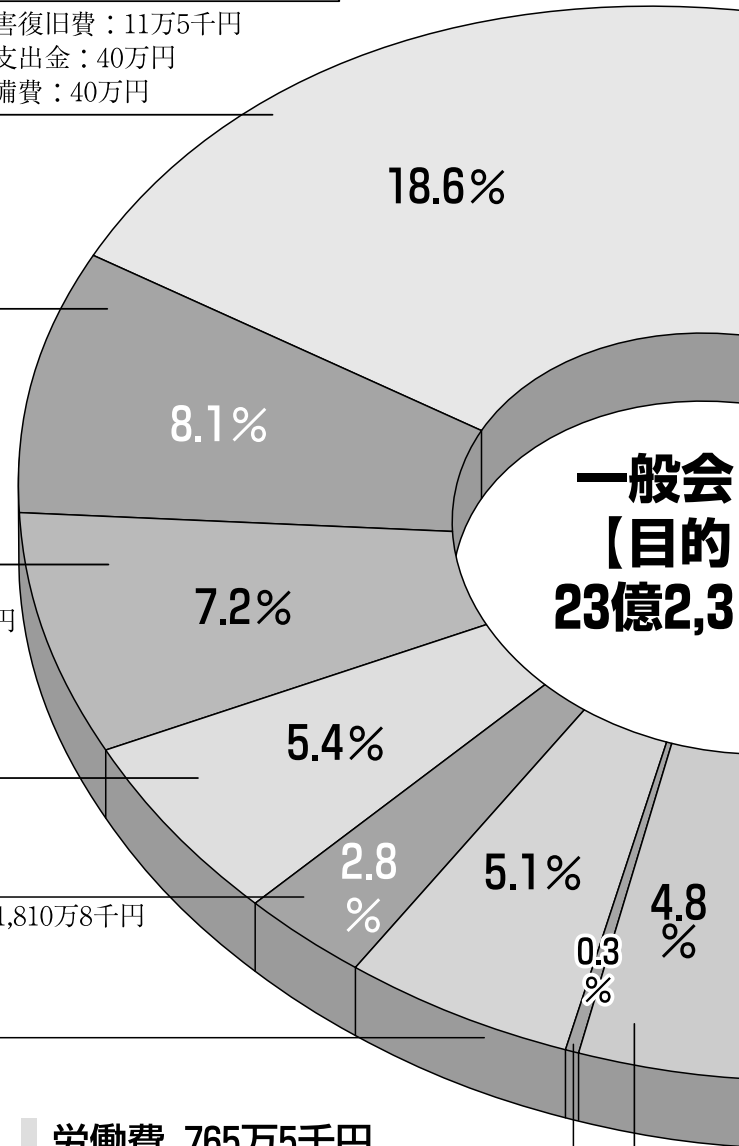
- ・緑資源機構造林事業(神岬・余別・婦美地区)：941万2千円
- ・乳質改善対策事業補助：362万2千円
- ・21世紀北の森づくり推進事業補助：122万2千円
- ・資源放流増殖事業補助(うに種苗放流ほか)：248万8千円
- ・漁港施設等維持管理費：1,097万1千円
- ・保護水面管理事業補助(積丹川・余別川)：119万5千円

労働費 765万5千円

- ・季節労働者生活安定資金貸付事業：30万円

衛生費 1億1,208万3千円

- ・塵芥収集業務委託事業：2,625万9千円
- ・町クリーンセンター維持管理費：1,641万4千円
- ・北しりべし廃棄物処理広域連合負担金：1,529万3千円
- ・北後志衛生施設組合負担金：1,427万2千円
- ・重度心身障害者医療給付事業：1,369万1千円
- ・各種がん検診、健康診査事業：869万7千円



五 災害復旧費など特殊要因のあるものおよび当初予定のものを除き、できるだけ新たな一般財源を伴う増額補正の回避に努めること。

三 投資的経費を抑制するため、地方債の発行はしないこと。

四 歳入予算における国の税源移譲の増、新型地方交付税の減等の不確実な要因を考慮すること。

行財政改革の継続の重要性に理解と協力を

また、財政の再建に向けた新たな対応については、過去3か年推進してきました行財政改革の「対象事業のさらなる拡大と、

ついて、前年度に増しての見直しや削減に努め、平成19年度予算を編成しました。

財政運営の基本となる5つの留意点

平成19年度の予算は、次の5点に留意し編成を行いました。

一 各会計について、赤字予算編成をしないこと。

二 国保診療所の単年度収支をゼロとするため、赤字見込額に対応する繰出額を計上すること。